

適用雑草および使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	オキサジクロメホンを 含む農薬の総使用回数	ヨードスルフロメチル ナトリウム塩を含む 農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量				
日本芝	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草	雑草発生前	75~100g /10a	200~300L /10a	2回以内	全面 散布	2回以内	2回以内

農薬の種類及び名称

種類名	オキサジクロメホン・ ヨードスルフロメチル ナトリウム塩水和剤
商品名	ウィーデンWDG
性状	類白色水和性細粒
有効成分及び 含有量	オキサジクロメホン…………… 30.0% (3-[1-(3,5-ジクロロフェニル)-1-メチルエチル]- 3,4-ジヒドロ-6-メチル-5-フェニル-2H-1, 3-オキサジン-4-オン) ヨードスルフロメチルナトリウム塩… 2.0% (メチル=4-ヨード-2-[3-(4-メトキシ- 6-メチル-1,3,5-トリアジン-2-イル) ウレイドスルホニル]安息香酸 ナトリウム塩)
化管法	1種172オキサジクロメホン… 30.0%
荷姿	500g×2本

人畜・水産動植物に対する安全性(製剤)

人畜毒性	経口	ラット(♀)	LD ₅₀ >2,000mg/kg
	経皮	ラット(♂♀)	LD ₅₀ >2,000mg/kg
	皮膚刺激性	ウサギ	刺激性なし
	眼刺激性	ウサギ	中等度の眼刺激性あり
	皮膚感受性	モルモット	皮膚感受性なし
水産動植物に 対する影響	コイ		LC ₅₀ >1,000mg/L (96hr)
	オオミジンコ		EC ₅₀ >1,000mg/L (48hr)
	藻類		ErC ₅₀ 2.78mg/L (0-72hr)

⚠ 効果・薬害等の注意事項

- 本剤は雑草の発生前に有効なので時期を失ないように散布してください。
- 十分に活着した日本芝に使用してください。
- 寒冷地型芝生には薬害を生じるので使用しないでください。
- 芝に黄変などの薬害を生じることがありますが、1~2週間で回復し、その後生育には影響を与えません。
- 周辺の作物にかかると薬害が生じるので、散布の際は芝生の中にある草花や花木、作物に薬液がかからないよう、その付近での散布は避けてください。
- ライグラスに対して薬害を生じやすいので、飛散しないように注意して散布してください。
- 本剤の散布に用いた器具類は、使用後できるだけ早く水で十分洗っておき、他の用途に使用する場合は薬害の原因にならないよう注意してください。
- 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

- 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきってください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄液はタンクに入れてください。

⚠ 安全使用上の注意事項

- 誤食などのないよう注意してください。
- 誤って飲み込んだ場合は吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、散布液調整時及び散布の際は保護メガネを着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、小児や人畜等に留意してください。

⚠ 貯蔵上の注意事項

- 直射日光を避け、食品と区別して、低温で乾燥した場所に密封して保管してください。
- ◎火災時は、適切な保護具を着用し消火器等で消火に努めてください。
- ◎漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収してください。
- ◎移送取扱いは、ていねいに行ってください。
- ◎食べられません
- ◎有効年以内に使用してください。
- ◎体調の悪いとき、妊娠中、飲酒後は取り扱いおよび作業をしないでください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載内容以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。

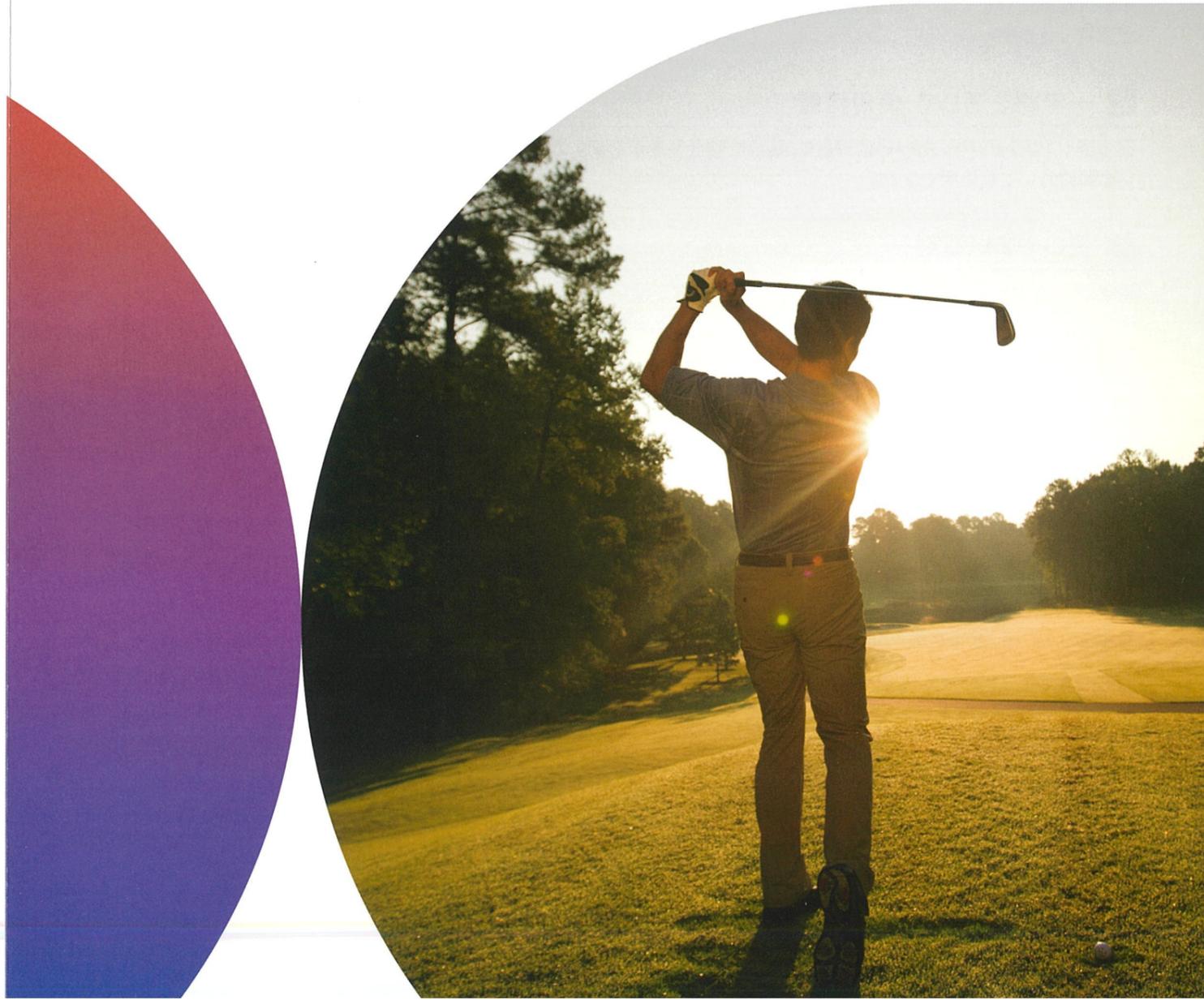


除草剤 芝用



あばれる雑草を一括防除

登録商標 第4055394号



コースの雑草管理をよりシンプルに、 より便利に

特長

1 幅広い殺草スペクトラム

一年生雑草および多年生広葉雑草に対して優れた除草効果を示します

- イネ科雑草：スズメノカタビラ、メヒシバなど
- キク科雑草：タンポポ、アレチノギク、ヒメムカシヨモギ、ウラジロチチコグサ、トキンソウ、ハルジオン、ノボロギクなど
- ゴマノハグサ科雑草：トキワハゼなど
- マメ科雑草：シロツメクサ、カラスノエンドウなど
- オオバコ科雑草：オオバコ、オオイヌノフグリなど
- その他、カタバミ、チドメグサ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウなど、幅広く安定した土壌処理効果を示します

2 優れた残効性

イネ科雑草に対しては、一年間を通じて、120日の残効性、広葉雑草に対しては、春処理で90日、秋処理で120日の残効性が期待できます

3 一年間を通じて、使用可能

日本芝(コウライシバ、ノシバ)に対して、優れた安全性を示しますので、日本芝の萌芽期、生成期、生育終期、休眠期、いずれにおいても使用できます

4 使いやすい製剤

粒径が大きい水和剤で、粒立ちが少なく、水に溶けやすい使い勝手に優れた製剤です
500g包装で、1,000Lタンクに1包装分投入することで5,000㎡散布することができます(1㎡あたり0.1gの製剤を水量200mLで散布する場合)

複数雑草を賢く、手堅く、一括で
イネ科雑草から広葉雑草までまとめて防除。安定した土壌処理層を形成して、雑草を長期間抑制します

上手な使い方と注意点

- 薬量0.1g/㎡、散布水量200mL/㎡以上を推奨します
- 雑草が既に発生している場合、トリビュートODなどの茎葉処理剤を加用してください
- 30℃以上の高温時に散布した場合、日本芝に対して一時的に黄化等の影響が生じる場合がありますが、一時的で速やかに回復します
- 寒地型芝草には飛散や靴・機械等による持ち込みによって薬害が発生する可能性があるため、十分に注意して散布してください(特にベントグリーン)
- ライグラスに対して強い影響を及ぼします。ウィンターオーバーシードする予定地の周辺で使用する場合、飛散しないようにかつ播種3-4週間前までに散布を終えてください

ウィーデンWDG 殺草スペクトラム

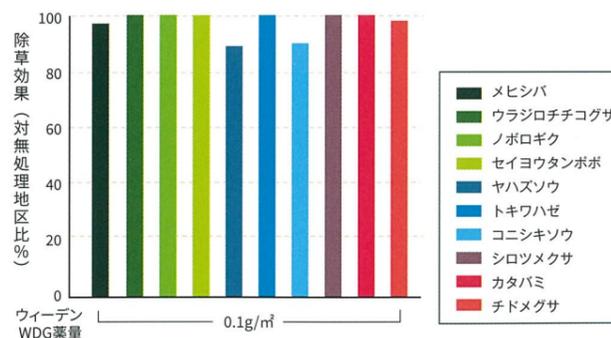
科名	和名	発生前処理薬量
		0.1g/㎡
イネ科	メヒシバ	●
	スズメノカタビラ	●
キク科	ウラジロチチコグサ	●
	チチコグサモドキ	●
	チチコグサ	●
	ハハコグサ	●
	セイヨウタンポポ	●
	ブタナ	●
	ニガナ	◎
	オオアレチノギク	●
	アレチノギク	●
	ヒメムカシヨモギ	●
	ヨモギ	●
	ハルジオン	●
	ノボロギク	●
	トキンソウ	●
	ハキダメギク	●
マメ科	シロツメクサ	●
	カラスノエンドウ	●
	コムツブウマゴヤシ	●
	ヤハズソウ	△

科名	和名	発生前処理薬量
		0.1g/㎡
ゴマノハグサ科	トキワハゼ	●
アブラナ科	タネツケバナ	●
	ナズナ	●
	イヌガラシ	●
ナデシコ科	オランダミミナグサ	●
	ミミナグサ	●
	ハコベ	●
カタバミ科	カタバミ	●
	ツメクサ	●
オオバコ科	オオバコ	●
	オオイヌノフグリ	●
	タチイヌノフグリ	●
セリ科	チドメグサ	●
トウダイグサ科	コニシキソウ	●
スベリヒコ科	スベリヒコ	●
シソ科	ホトケノザ	●
カヤツリグサ科	カヤツリグサ	●
	ハマスゲ	△
	ヒメクグ	×

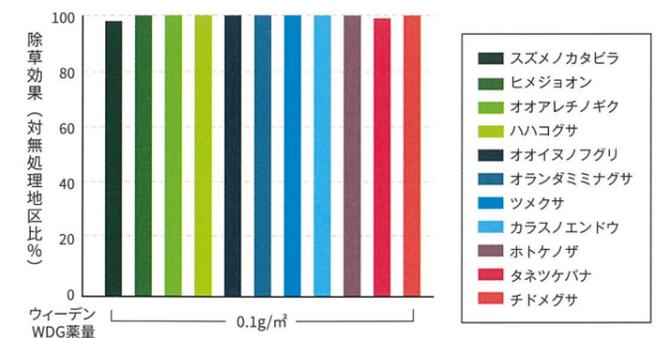
●：十分な効果 ◎：高い効果 ○：効果あり △：効果不十分 ×：効果なし -：未実施、試験中 (日本植物調節剤研究協会委託試験結果および社内試験結果より)

■ ウィーデンWDGの威力は一目瞭然

ウィーデンWDGの試験結果(日植調・春処理) 平成19年度試験
タフな春～夏管理の労力を軽減したい。そんな現場の声にお応えします



ウィーデンWDGの試験結果(日植調・秋処理) 平成19年度試験
秋処理で翌春の雑草を抑えることで、ゆとりの防除計画が組めます



■ 効果の高い一年雑草および多年生広葉雑草

